

事 務 連 絡  
平成 30 年 5 月 8 日

各都道府県建設業協会 事務局 御中

一般社団法人 全国建設業協会  
事業部

「平成 30 年度 土研新技術セミナー」開催について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国立研究開発法人 土木研究所より、標記イベントのご案内がありました。下記ホームページより参加の申込みができますので、貴会会員の皆様にご案内いただきますようお願い申し上げます。

「平成 30 年度 土研新技術セミナー」ホームページ

<http://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2018/0620/seminar.html>

以 上

担当:事業部 金丸 TEL:03-3551-9396 FAX:03-3555-3218 e-mail:jigyo@zenken-net.or.jp
--

平成30年 6月20日(水)

# 平成30年度 土研新技術セミナー

～持続的な成長に資する技術・取り組み～

13時30分～17時15分(受付12:45～)  
ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall [WEST]

## 第1部 特別講演

[13:40～14:25]

### イプシロンロケットが実現するスマートなロケット打ち上げ

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
イプシロンロケットプロジェクトチーム  
研究開発員 岡田 修平



[14:25～15:10]

### 土木分野におけるダイバーシティ推進

～多様な人材の活躍と組織の成長～

公益社団法人土木学会 ダイバーシティ推進委員会 委員  
(パシフィックコンサルタンツ株式会社 人事部 D&I 推進室 室長)  
飯島 玲子



## 第2部 関東地方整備局の取り組み紹介

15:30～16:00 関東地方整備局における生産性向上の取り組み

国土交通省関東地方整備局 技術エキスパート研究会 砂防・土砂災害部会  
(関東地方整備局 企画部企画課 建設専門官) 守谷 武史

## 第3部 生産性向上に資する土木研究所の研究・成果紹介

16:00～16:20 非接触型流速計

土木研究所 水工研究グループ水文チーム 上席研究員 笛田 俊治

16:20～16:40 浅部物理探査データに基づく地表地下空間情報の統合化モデルの構築

土木研究所 地質・地盤研究グループ 特任研究員 稲崎 富士

16:40～17:00 i-ConstructionにおけるICT 施工・ロボット・AIへの取り組み(仮題)

土木研究所 技術推進本部先端技術チーム 上席研究員 新田 恭士



～お申込みはこちらよりお願いします～

→ [www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2018/0620/seminar.html](http://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2018/0620/seminar.html)



国立研究開発法人 土木研究所 Tel: 029-860-6800

## 特別講演「イプシロンロケットが実現するスマートなロケット打上げ」

イプシロンロケットはロケットの打ち上げが日常的になり、宇宙がもっと身近に感じられる時代の実現を目指した固体ロケットです。これまでに試験機から3号機までの計3機が鹿児島県の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられています。

ロケットの打ち上げは「機体」・「設備」・「運用」から成り立っていますが、イプシロンロケットの試験機では機体による自動点検などを導入し、地上設備のコンパクト化と運用性の革新を果たしました。2号機・3号機ではそれをさらに発展させ、打上げに必要な期間や工数をスマート化しています。

これまでのスマート化の取組みをロケット準備作業における工夫の実例も含め紹介するとともに、将来に向けた国際競争力を有するロケット開発の展望をご紹介します。

## 特別講演「土木分野におけるダイバーシティ推進 ～多様な人材の活躍と組織の成長～」

変化が激しい市場環境で生産性向上やビジネス革新を実現するには、組織メンバーの Diversity（多様性）と Inclusion（受容）が必要です。一方、土木学会の正会員に占める女性割合は5%に留まり、Diversity & Inclusion が進んでいるとは言えない状況です。

このような背景のもと、土木学会では土木界全体を対象とした「D&I 行動宣言」を平成27年5月に策定し、性別はもとより年齢、技術分野、職種、価値観等のちがいを活かして社会資本整備を行うことを目指しています。今回は、土木界の現状・課題と土木学会の取組み、また、これまであまり表にでてこなかった建設コンサルタント企業の事例をご紹介します。

## 「関東地方整備局における生産性向上の取組み」

国土交通省では、平成30年を生産性革命「深化の年」と位置付け、社会全体の生産性向上につながるストック効果の高い社会資本の整備・活用や、関連産業の生産性向上、新市場開拓を支える取組を推進しています。

本講演では、関東地方整備局における生産性向上に関する具体的な取組み事例をご紹介します。

## 「i-Constructionにおける ICT 施工・ロボット・AIへの取組み(仮題)」

土木研究所では、情報技術や土木機械設備技術等の先端技術を活用し、建設機械の高度化、建設生産技術およびシステムの合理化、設備機械の信頼性の向上・コスト縮減、維持管理の効率化などを目指した研究開発を行っています。本講演では、i-Construction における ICT 施工・ロボット・AIに関する土木研究所での取組みについてご紹介します。

土研の主な技術はこちらでご覧いただけます。

➔ [www.pwri.go.jp/jpn/results/tec-info/index.html](http://www.pwri.go.jp/jpn/results/tec-info/index.html)



新御茶ノ水（東京メトロ千代田線）B2 出口直結  
御茶ノ水（JR中央・総武線）聖橋口徒歩1分  
御茶ノ水（東京メトロ丸の内線）出口1 徒歩4分  
小川町（都営新宿線）B3 出口 徒歩6分  
秋葉原（JR山手線・総武線・京浜東北線）電気街口徒歩9分

主催：国立研究開発法人 土木研究所  
後援：関東地方整備局、(公社)土木学会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国測量設計業協会連合会、  
(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)建設電気技術協会(予定含)

その他：CPD認定プログラム(B7単位)：(公社)土木学会 CPDプログラム / CPDS認定プログラム(B3ユニット)：(一社)全国土木施工管理士連合会 CPDSプログラム

